

2015年3月期 決算概要

ルネサス エレクトロニクス株式会社

2015年5月12日

本日のご説明内容

I.

2015年3月期 決算概要

II.

2016年3月期 第1四半期 業績予想

III.

成長へのギアチェンジに向けて

エグゼクティブサマリ

I. 2015年3月期 決算概要

- 半導体売上高は、RSP(ルネサスエスピードライバ)譲渡など事業撤退影響により、前期比5.5%減の7,533億円
- 営業損益は、円安効果に加え、固定費削減効果、プロダクトミックス改善などにより、前期比368億円増の1,044億円
- 当期純損益は、早期退職優遇制度の実施に伴う特別損失などが発生したもののRSP譲渡に伴う特別利益があり、824億円の黒字

II. 2016年3月期 第1四半期 業績予想

- 第1四半期の半導体売上高は、前四半期比0.6%減の1740億円を見込む
- 第1四半期の営業損益は、前四半期比6億円増の250億円、四半期純損益は、前四半期比110億円増の200億円を見込む
- 費用構造の改善が進むが、為替など一時的要因による押し上げ効果も含むため、安定的に利益を出せる体質を目指し構造改革を計画通り推進する

I. 2015年3月期 決算概要

2015年3月期 決算概要

- 通期の半導体売上高は、RSP譲渡など事業撤退影響により、前期比5.5%減
- 通期の営業損益は、円安効果に加え、固定費削減効果、プロダクトミックス改善などにより、前期比368億円増

(億円)	2014年3月期		2015年3月期							
	第4四半期	通期	第3四半期	第4四半期	前四半期比	前年同期比	通期 (2/5予想)	通期	前期比	予想比
売上高	2,005	8,330	1,919	1,822	△97 (△5.1%)	△183 (△9.1%)	7,860	7,911	△419 (△5.0%)	+51 (+0.6%)
半導体売上高	1,918	7,968	1,774	1,751	△23 (△1.3%)	△167 (△8.7%)	7,480	7,533	△435 (△5.5%)	+53 (+0.7%)
売上総利益(率)	752 (37.5%)	3,097 (37.2%)	786 (40.9%)	781 (42.8%)	△5 (+1.9Pt.)	+29 (+5.3Pt.)	3,122 (39.7%)	3,188 (40.3%)	+90 (+3.1Pt.)	+66 (+0.6Pt.)
営業損益(率)	170 (8.5%)	676 (8.1%)	295 (15.3%)	244 (13.4%)	△50 (△1.9Pt.)	+75 (+5.0Pt.)	980 (12.5%)	1,044 (13.2%)	+368 (+5.1Pt.)	+64 (+0.7Pt.)
経常損益	154	586	332	231	△101 (△30.5%)	+77 (+49.9%)	980	1,053	+467 (+79.7%)	+73 (+7.5%)
純損益	△155	△53	382	90	△292 (△76.3%)	+245	740	824	+877	+84
(参考) 特別損益	△275	△481	101	△148	△249	+127	△90	△112	+369	△22
1 US\$ =	103円	100円	110円	119円	8円 円安	16円 円安	108円	108円	9円 円安	1円 円安
1 ユーロ =	141円	133円	140円	140円	—	1円 円高	140円	140円	7円 円安	—

2015年3月期 決算概要 (RSP相当分除く*)

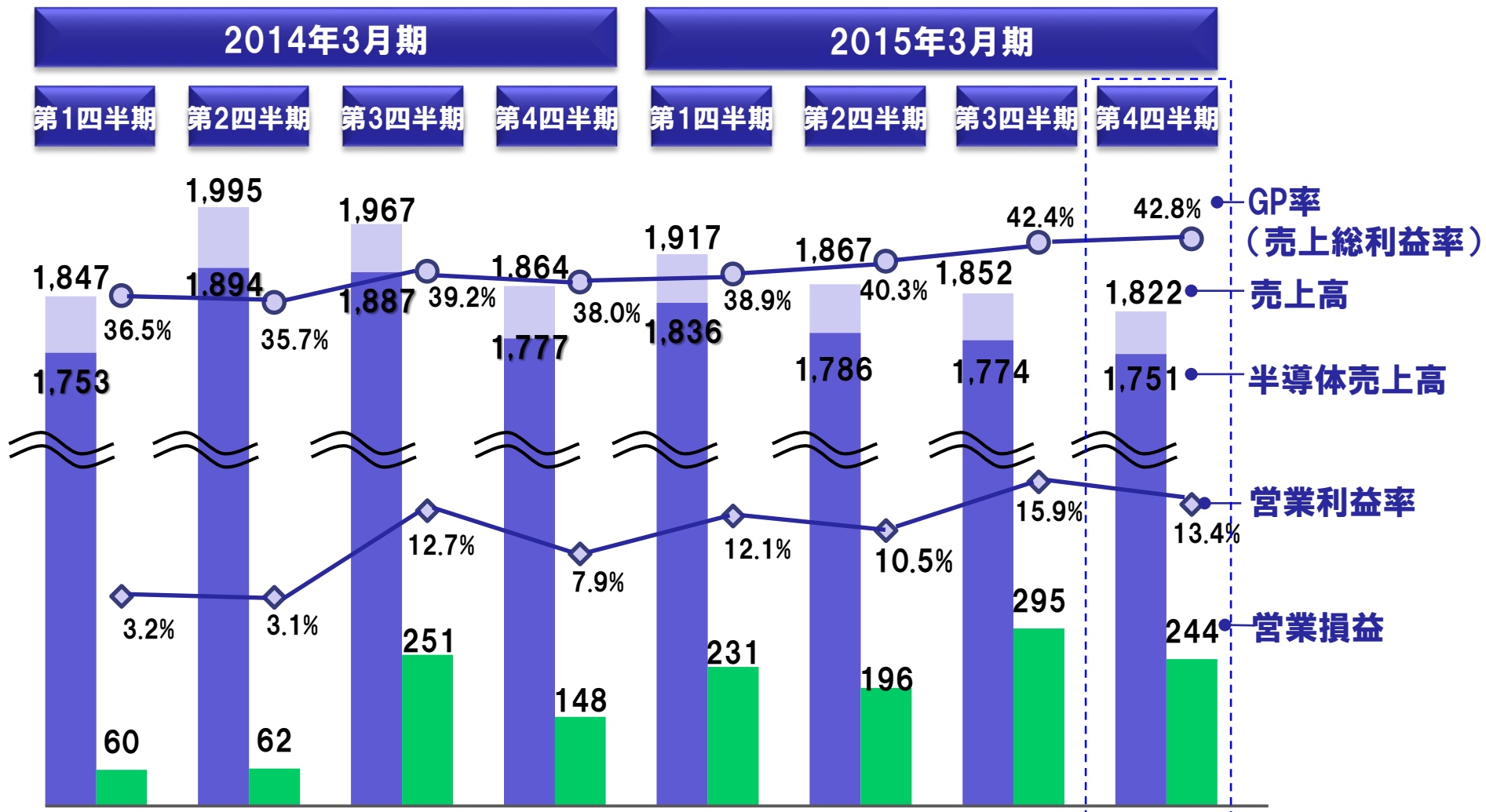
- RSP相当分を除く通期の半導体売上高は、事業撤退の影響により、前期比2.2%減
- RSP相当分を除く通期の営業損益は、円安効果に加え、固定費削減効果、プロダクトミックス改善などにより、前期比446億円増

(億円)	2014年3月期		2015年3月期							
	第4四半期	通期	第3四半期	第4四半期	前四半期比	前年同期比	通期 (2/5予想)	通期	前期比	予想比
売上高	1,864	7,674	1,852	1,822	△30 (△1.6%)	△42 (△2.3%)	7,408	7,458	△216 (△2.8%)	+51 (+0.6%)
半導体売上高	1,777	7,311	1,774	1,751	△23 (△1.3%)	△26 (△1.5%)	7,095	7,148	△164 (△2.2%)	+53 (+0.7%)
売上総利益 (率)	708 (38.0%)	2,868 (37.4%)	786 (42.4%)	781 (42.8%)	△5 (+0.4Pt.)	+72 (+4.9Pt.)	2,998 (40.4%)	3,063 (41.1%)	+196 (+3.7Pt.)	+66 (+0.6Pt.)
営業損益 (率)	148 (7.9%)	520 (6.8%)	295 (15.9%)	244 (13.4%)	△50 (△2.5Pt.)	+97 (+5.5Pt.)	901 (12.2%)	966 (12.9%)	+446 (+6.2Pt.)	+64 (+0.7Pt.)

*: 2015年3月期第2四半期までのRSPの売上高および2014年10月1日のSynaptics社へのRSP譲渡後に同社の出荷システムが立ち上がる同月末まで代行販売した旧RSP製品の売上を除外(粗利は影響なし)

四半期業績推移 (億円) (RSP相当分除く)

- 2015年3月期 第4四半期の半導体売上高は、非注力事業の撤退影響により、前四半期比1.3%減、前年同期比1.5%減
- GP率、営業利益率ともに改善傾向にあるが、為替効果など一時的な要因を含む



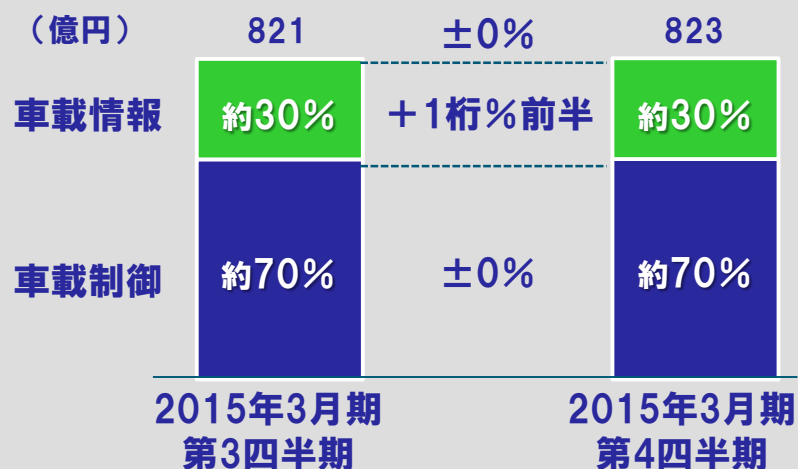
2015年3月期 半導体売上高の事業別状況

- 第4四半期および通期は、自動車は前年同期比・前四半期比ともに増収となるが、汎用はRSP譲渡など事業撤退影響により前年同期比・前期比ともに減収

(億円)	2014年3月期		2015年3月期							
	第4四半期	通期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	前四半期比	前年同期比	通期	前期比
半導体 売上高計 【RSP相当分除く】	1,918 【1,777】	7,968 【7,311】	2,012 【1,836】	1,996 【1,786】	1,774	1,751	△23 (△1.3%)	△167 (△8.7%) 【△26/ △1.5%】	7,533	△435 (△5.5%) 【△164/ △2.2%】
自動車	785	3,037	798	788	821	823	+2 (+0.2%)	+38 (+4.8%)	3,231	+193 (+6.4%)
汎用 【RSP相当分除く】	1,120 【979】	4,872 【4,215】	1,198 【1,022】	1,197 【988】	940	919	△21 (△2.2%)	△201 (△17.9%) 【△60/ △6.1%】	4,255 【3,870】	△617 (△12.7%) 【△346/ △8.2%】
その他半導体	13	59	16	10	12	9	△4 (△28.7%)	△4 (△30.0%)	47	△11 (△19.4%)

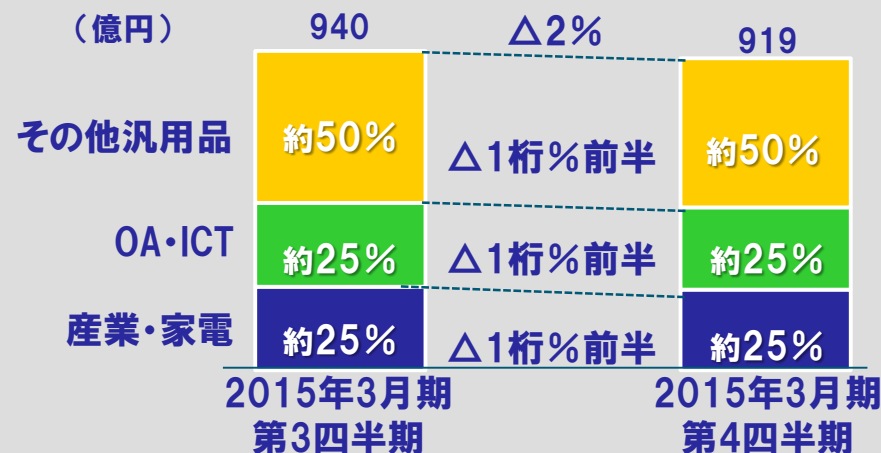
2015年3月期 第4四半期 半導体売上高の事業別状況

自動車



- 車載制御、車載情報はともに前四半期とほぼ同水準となり、自動車全体でも前四半期比フラット
- 為替効果を除くと、車載制御、車載情報はともに前四半期比1桁%前半の減となり、自動車全体でも前四半期比1桁%前半の減

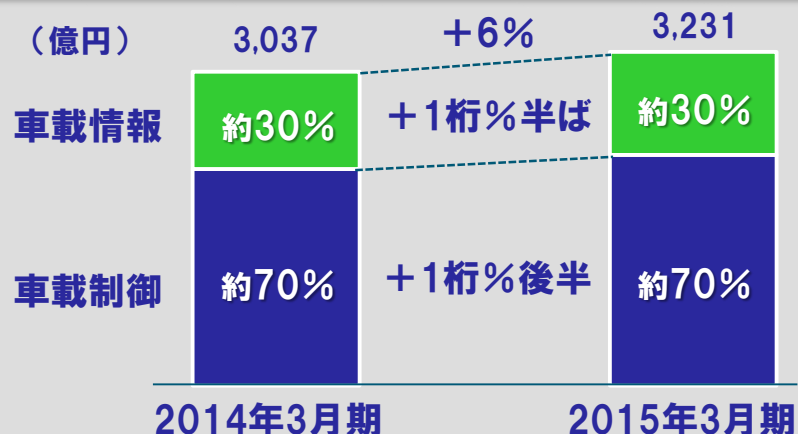
汎用



- 産業・家電、OA・ICTおよびその他汎用品は、それぞれ前四半期比1桁%前半の減で推移
- 汎用全体では、前四半期比2%減となり、為替効果を除くと、前四半期比1桁%半ばの減

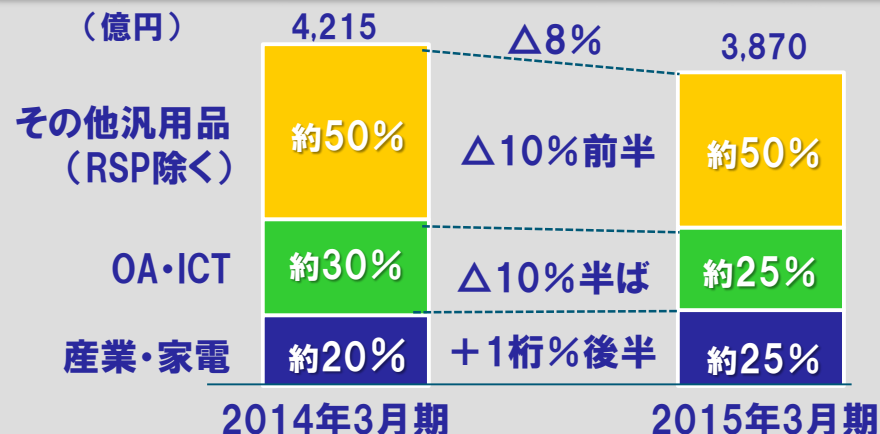
2015年3月期 通期 半導体売上高の事業別状況

自動車



- 車載制御、車載情報はともに前期比増となり、自動車全体では前期比6%増
- 為替効果を除いても、車載制御・車載情報ともに微増となり、自動車全体でも前期比微増

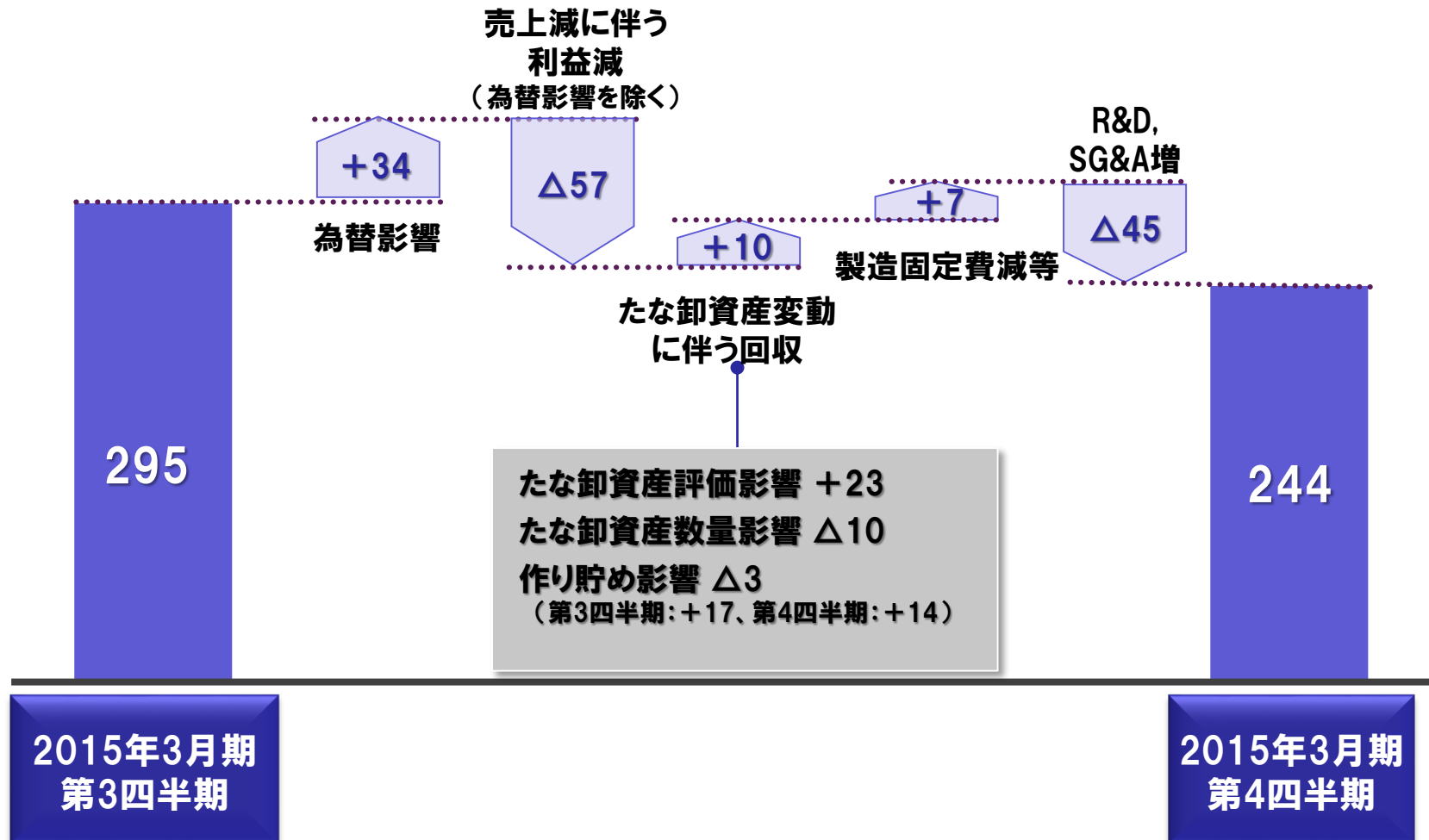
汎用



- 産業・家電は、前期比1桁%後半の増となる一方、OA・ICTは前期比10%半ばの減
- その他汎用品は、売上の15%強を占めていたRSP相当分を除くと、前期比10%前半の減
- RSPを除く汎用全体では、前期比8%減となり、為替効果を除くと、10%前半の減収

2015年3月期 第4四半期 営業損益（前四半期比）（億円）

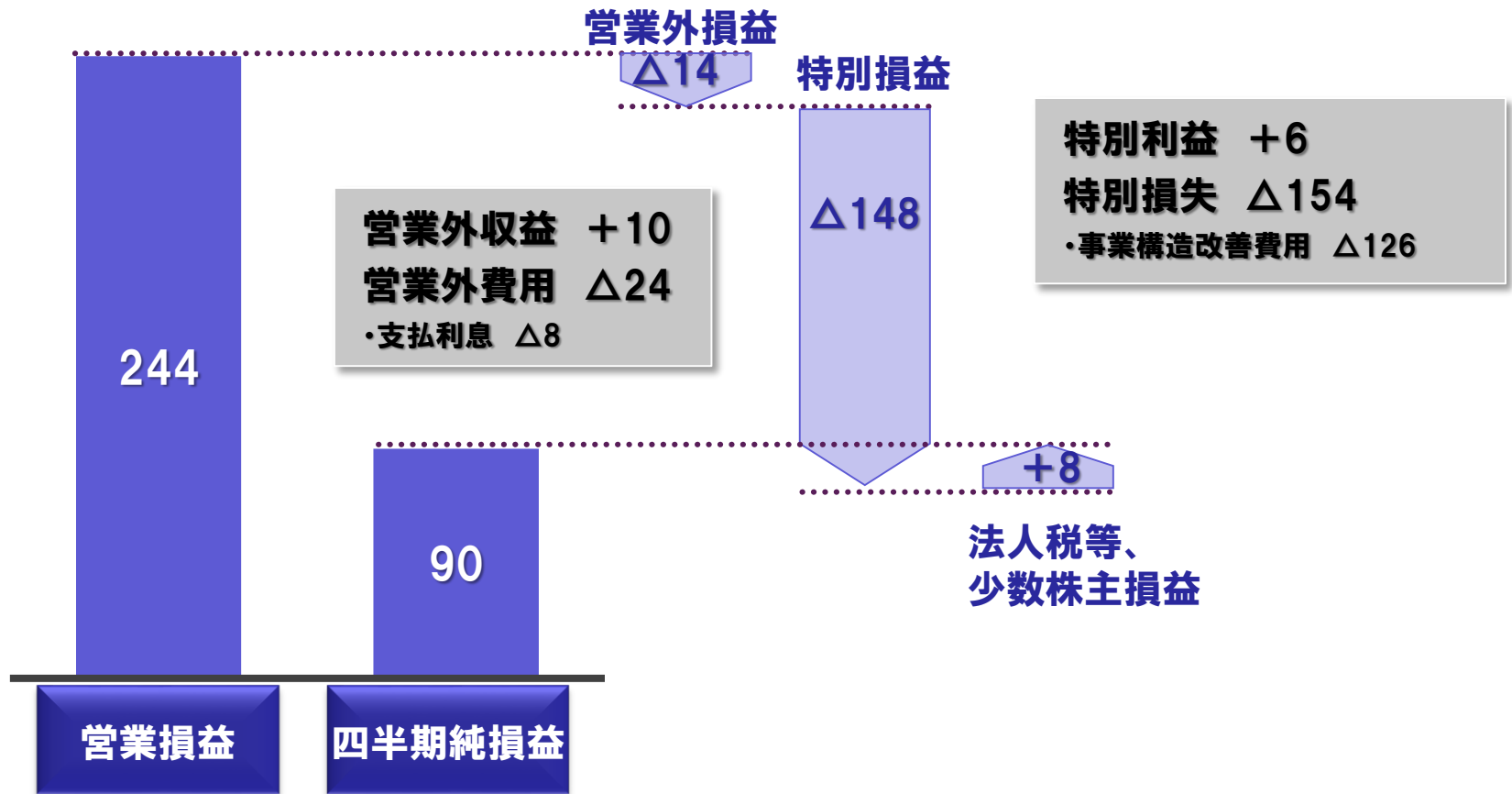
- 為替影響、たな卸資産変動影響、製造固定費減等があるものの、売上減に伴う利益減や年度末の費用集中により、前四半期比50億円減



*R&D:研究開発費 *SG&A:販売費および一般管理費

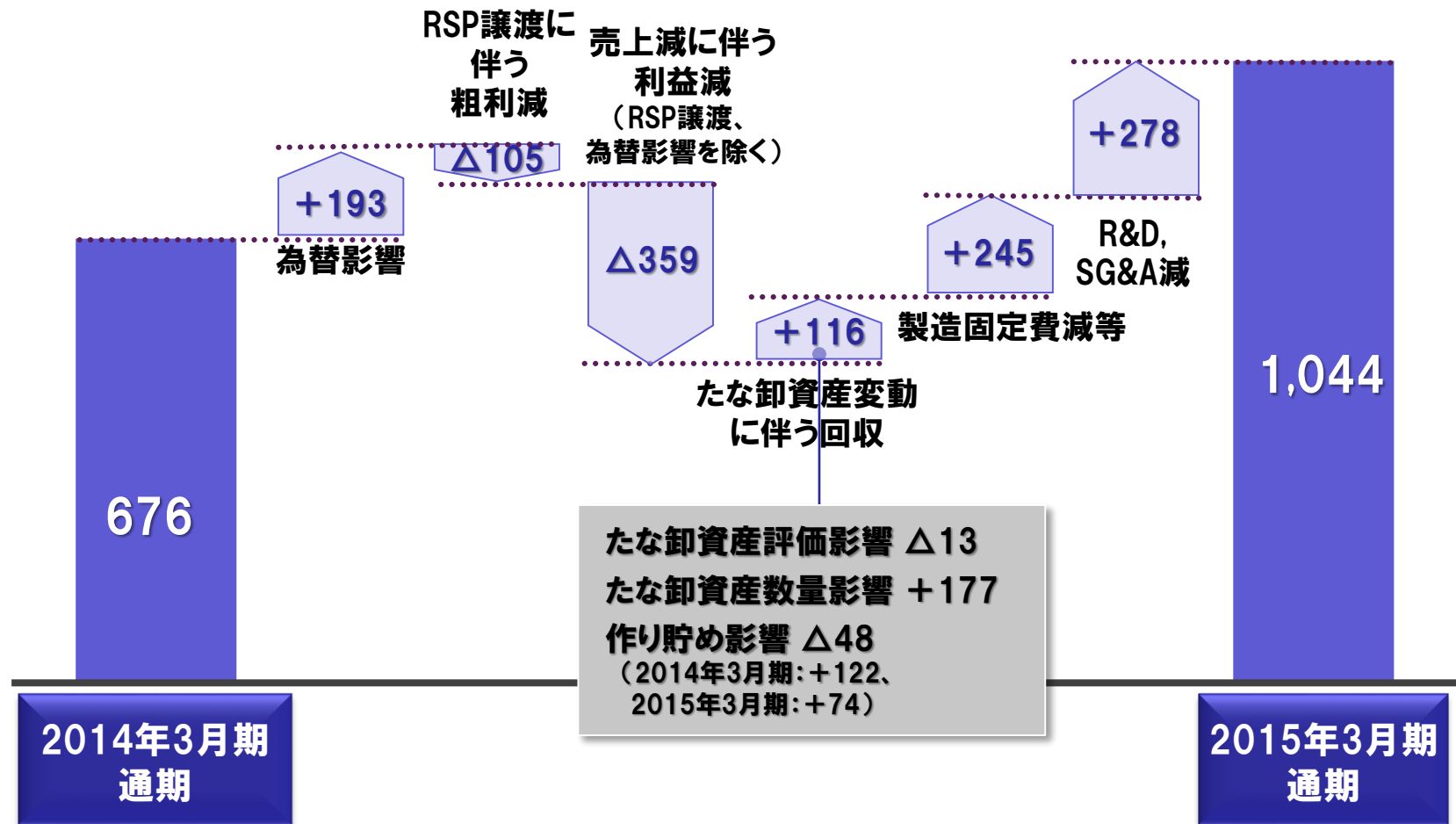
2015年3月期 第4四半期 四半期純損益（億円）

- 第4四半期は生産および設計開発拠点再編に伴う構造改革による特別損失などがあり、四半期純損益は90億円の黒字



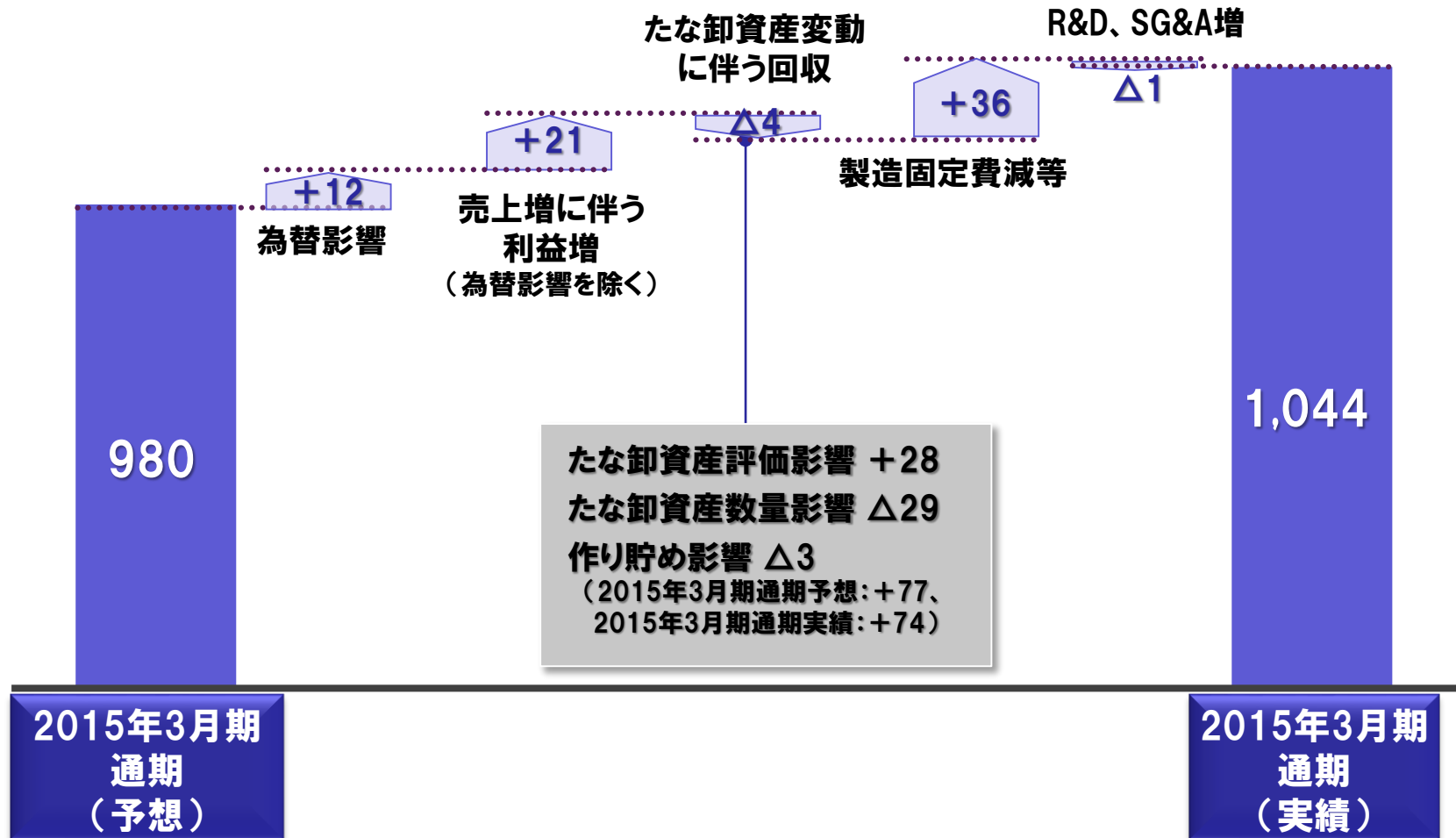
2015年3月期 通期 営業損益（前期比）（億円）

- 売上減に伴う利益減があるものの、プロダクトミックスの改善や固定費削減効果により前期比368億円増
- 費用構造の改善が進むが、為替など一時的要因による押し上げ効果も含むため、安定的に利益を出せる体質を目指し引き続き、構造改革を計画通り推進する



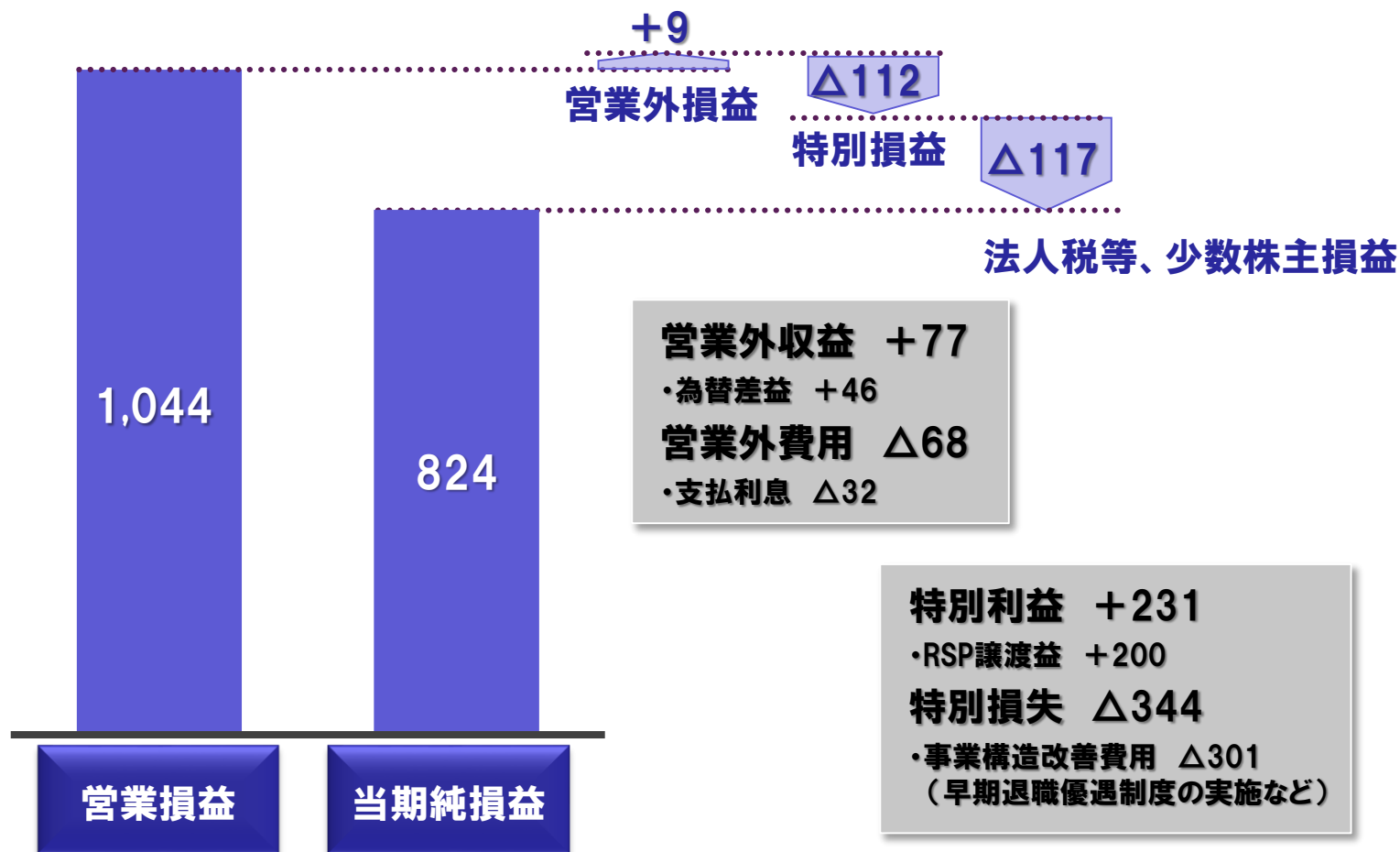
2015年3月期 通期 営業損益（2月5日予想比）（億円）

- R&DとSG&Aについてはほぼ予想通りだったものの、為替影響、売上増に伴う利益増および製造固定費減等により、営業損益は予想比64億円増



2015年3月期 通期 当期純損益（億円）

- 2015年3月期当期純損益は、早期退職優遇制度の実施など構造改革に伴う特別損失があったものの、RSP譲渡に伴う特別利益200億円もあり、当期純損益は824億円の黒字



バランスシート状況

- 当期利益の積み上げにより、自己資本比率30%台の定着を図っていく

(億円)	2014年3月末	2014年12月末	2015年3月末
総資産	7,860	8,546	8,401
うち 現金及び現金同等物	2,659	3,358	3,437
うち たな卸資産	1,261	1,095	1,114
負債合計	5,587	5,687	5,282
うち 有利子負債	2,709	2,621	2,597
株主資本	2,206	2,688	2,778
純資産合計	2,273	2,859	3,119
D/Eレシオ (グロス)	1.26倍	0.93倍	0.84倍
自己資本比率	27.3%	33.2%	36.8%

(注)①現金及び現金同等物:「現金及び預金」と「有価証券」の単純合算値から「預入期間が3ヶ月を超える定期預金」を控除しております。

②有利子負債:「短期借入金」、「1年内返済予定の長期借入金」、「リース債務」、「長期借入金」

③自己資本:「株主資本」、「その他の包括利益累計額」 ④D/Eレシオ(グロス):有利子負債/自己資本

キャッシュ・フローの状況

- 第4四半期は、構造改革に伴う支出があったものの、フリー・キャッシュ・フローは黒字を維持
- 通期でも、早期退職優遇制度実施に伴う退職金の支払いなどがあったものの、高水準の税引前利益に加えて、RSP譲渡による収入があり、フリー・キャッシュ・フローは通期レベルでは過去最高水準

(億円)	2014年3月期					2015年3月期				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通期
営業活動による キャッシュ・フロー	284	90	339	224	937	20	495	410	242	1,167
投資活動による キャッシュ・フロー	△25	△65	△34	△68	△192	△109	△149	72	△80	△266
フリー・キャッ シュ・フロー	259	25	305	156	745	△89	347	482	162	901

II. 2016年3月期 第1四半期 業績予想

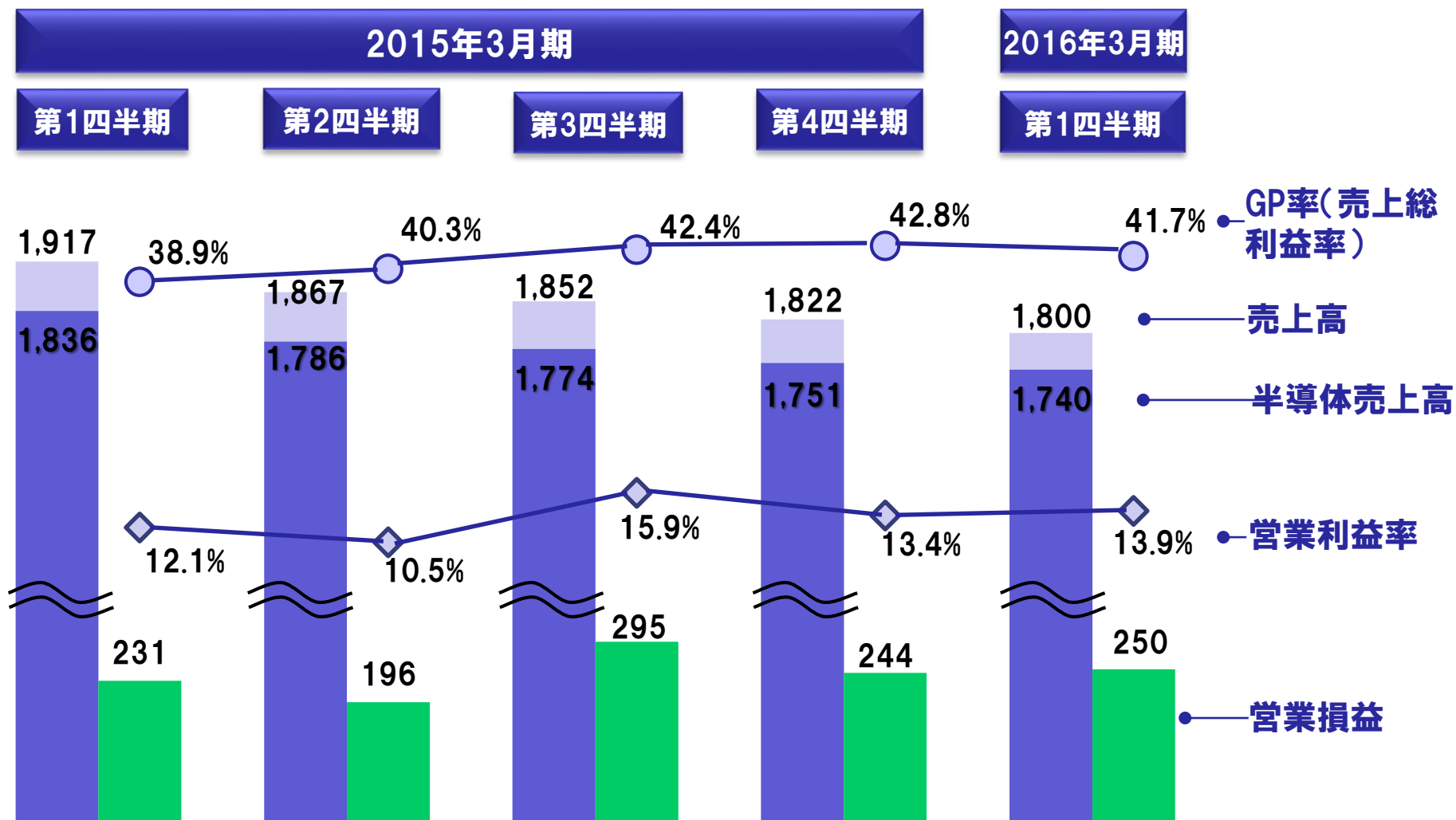
2016年3月期 第1四半期 業績予想

- 第1四半期の半導体売上高は、前四半期比0.6%減の1,740億円を見込む
- 第1四半期の営業損益は、前四半期比減収となるものの、期末費用集中の反動などにより前四半期比6億円増を見込む

(億円)	2015年3月期		2016年3月期		
	第1四半期	第4四半期	第1四半期	前四半期比	前年同期比
売上高 【RSP相当分除く】	2,093 【1,917】	1,822	1,800	△22 (△1.2%)	△293 (△14.0%) 【△117/△6.1%】
半導体売上高 【RSP相当分除く】	2,012 【1,836】	1,751	1,740	△11 (△0.6%)	△272 (△13.5%) 【△96/△5.2%】
売上総利益(率) 【RSP相当分除く】	805 (38.5%) 【38.9%】	781 (42.8%)	750 (41.7%)	△31 (△1.1Pt.)	△55 (+3.2Pt.) 【+2.8Pt.】
営業損益(率)	270 (12.9%)	244 (13.4%)	250 (13.9%)	+6 (+0.5Pt.)	△20 (+1.0Pt.)
経常損益	253	231	230	△1 (△0.2%)	△23 (+9.2%)
四半期純損益	212	90	200	+110 (+121.1%)	△12 (△5.7%)
(参考) 特別損益	△9	△148	△10	+138	△1
1 US\$ =	102円	119円	117円	2円 円高	15円 円安
1 ユーロ =	141円	140円	130円	10円 円高	11円 円高

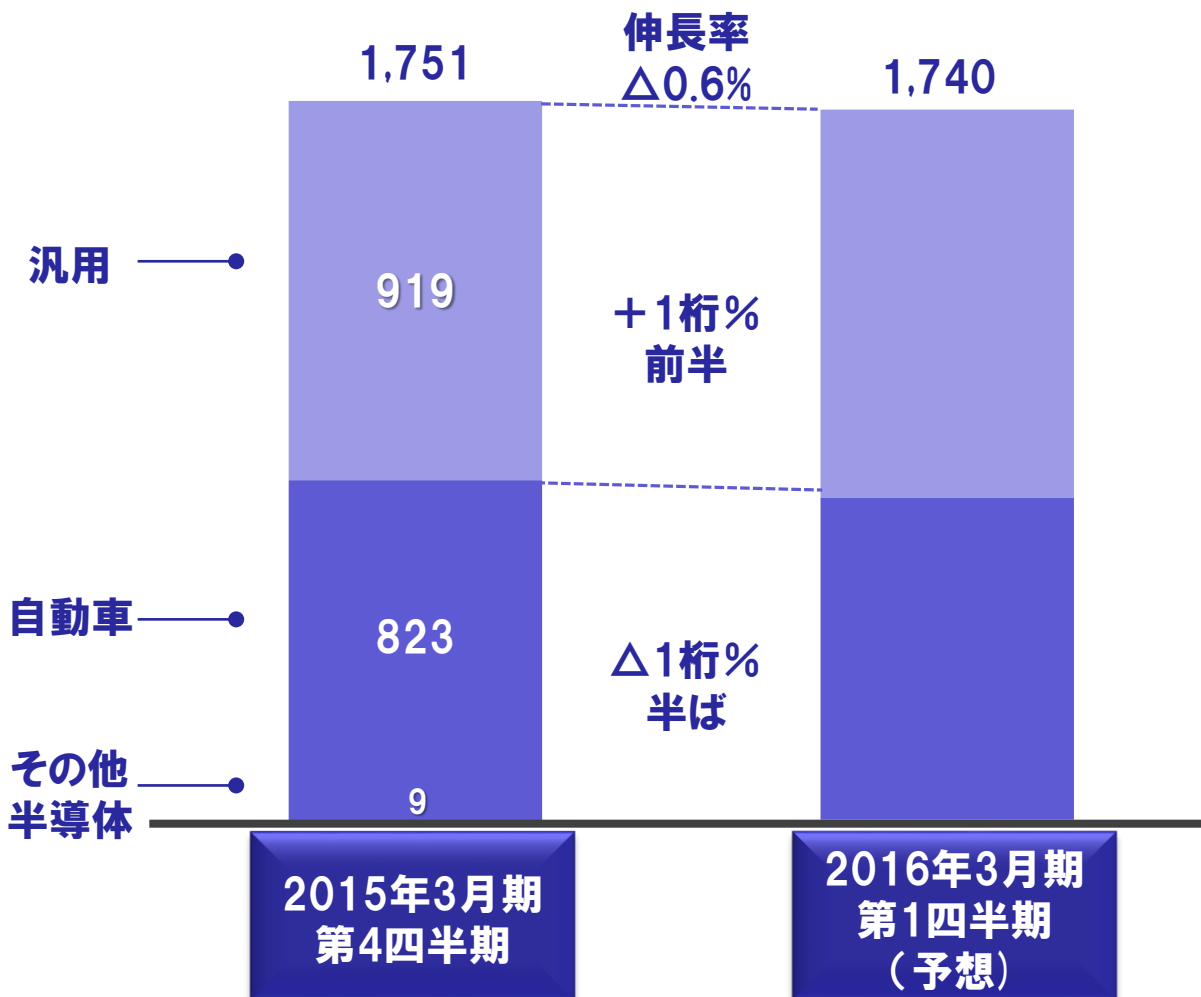
四半期業績推移 (RSP相当分除く) (億円)

■ 第1四半期のGP率は、たな卸資産変動に伴う回収減などにより、前四半期比で減少の見込み



2016年3月期 第1四半期 半導体売上高見通し(前四半期比)(億円)

- 自動車は前四半期比1桁%半ばの減収を見込む一方、汎用は前四半期比1桁%前半の増収を見込む



1Qの主な増減要因

汎用

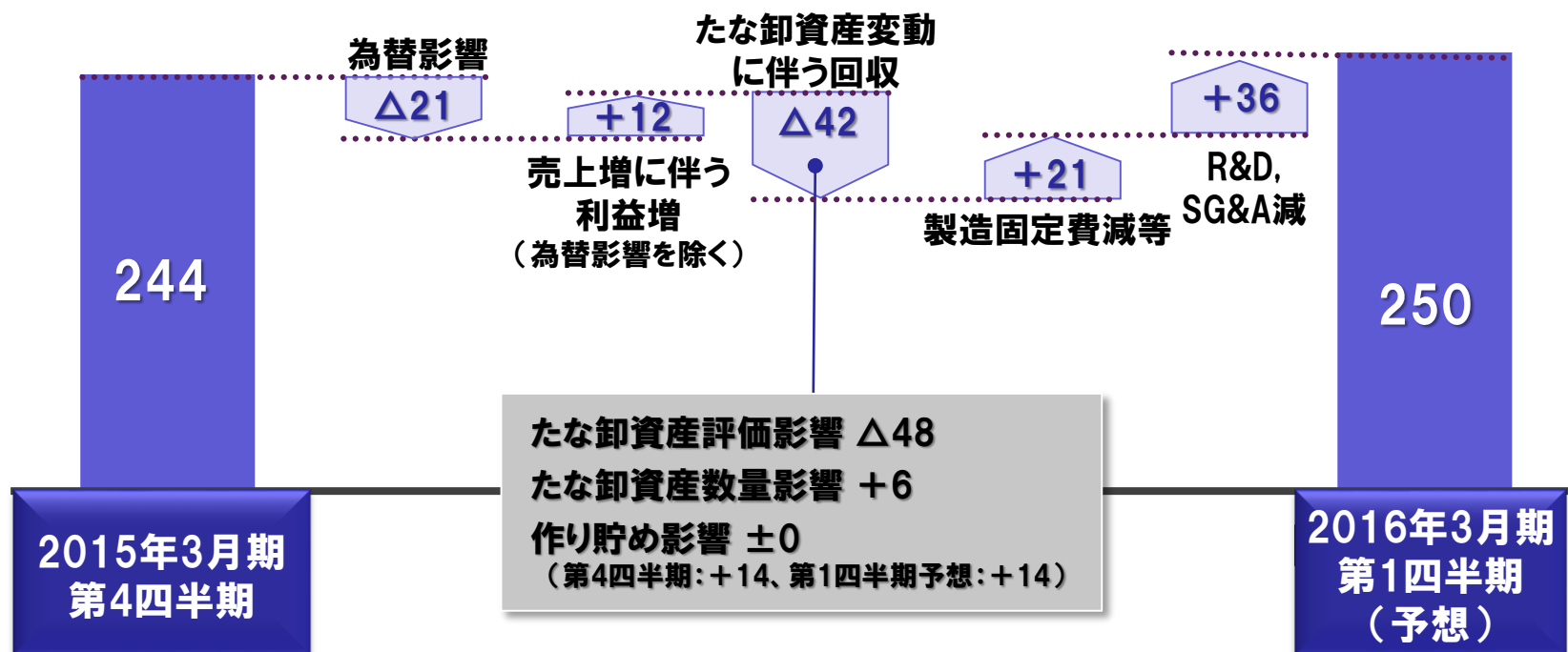
- 産業・家電は産業用途が引き続き堅調で前四半期比増を見込む
- OA・ICTは前四半期比増を見込む
- その他汎用品は撤退影響もあり前四半期比減を見込む

自動車

- 車載制御、車載情報ともに前四半期比減となる見込み

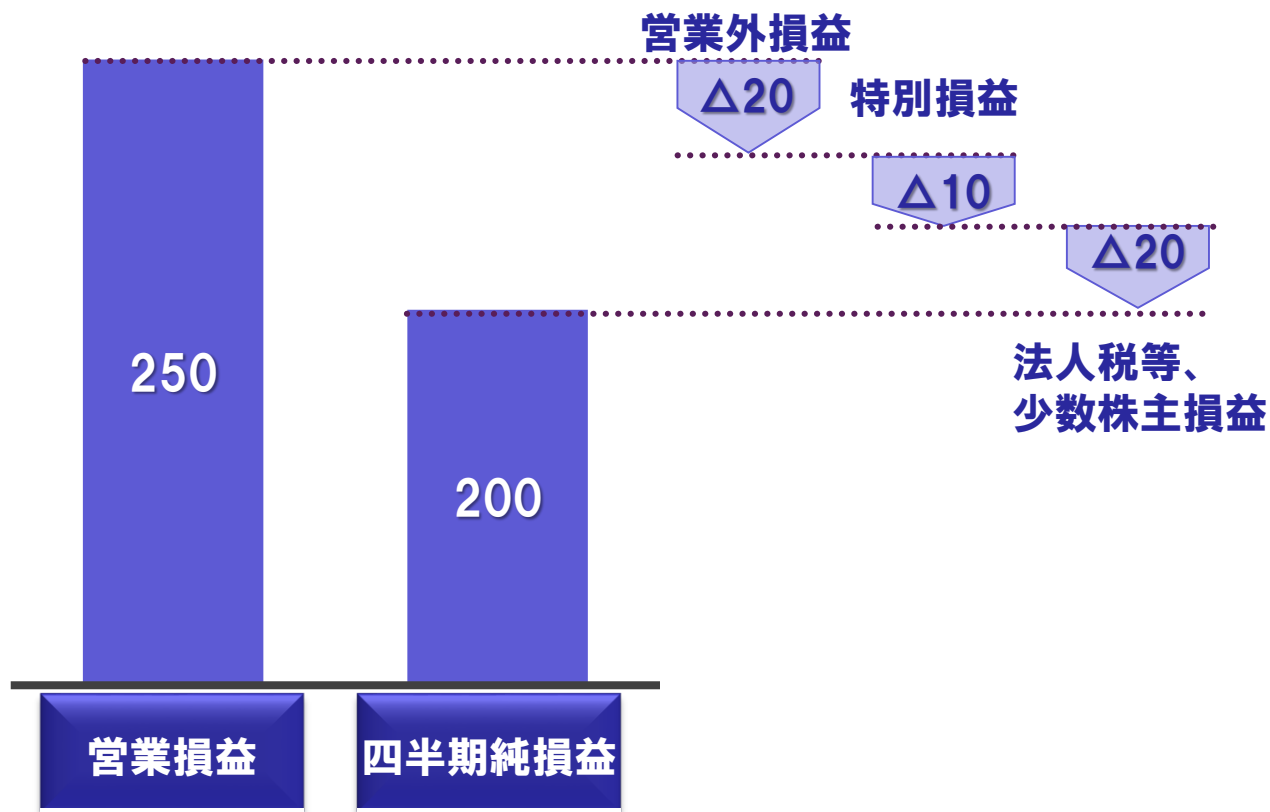
2016年3月期 第1四半期 営業損益見通し(前四半期比) (億円)

- 為替影響やたな卸資産変動に伴う回収減があるものの、年度末の費用集中の反動により、前四半期比6億円増の予想



2016年3月期 第1四半期 四半期純損益見通し (億円)

- 第1四半期の四半期純損益は、大きな特別損失の発生を見込まず、200億円の黒字の見通し



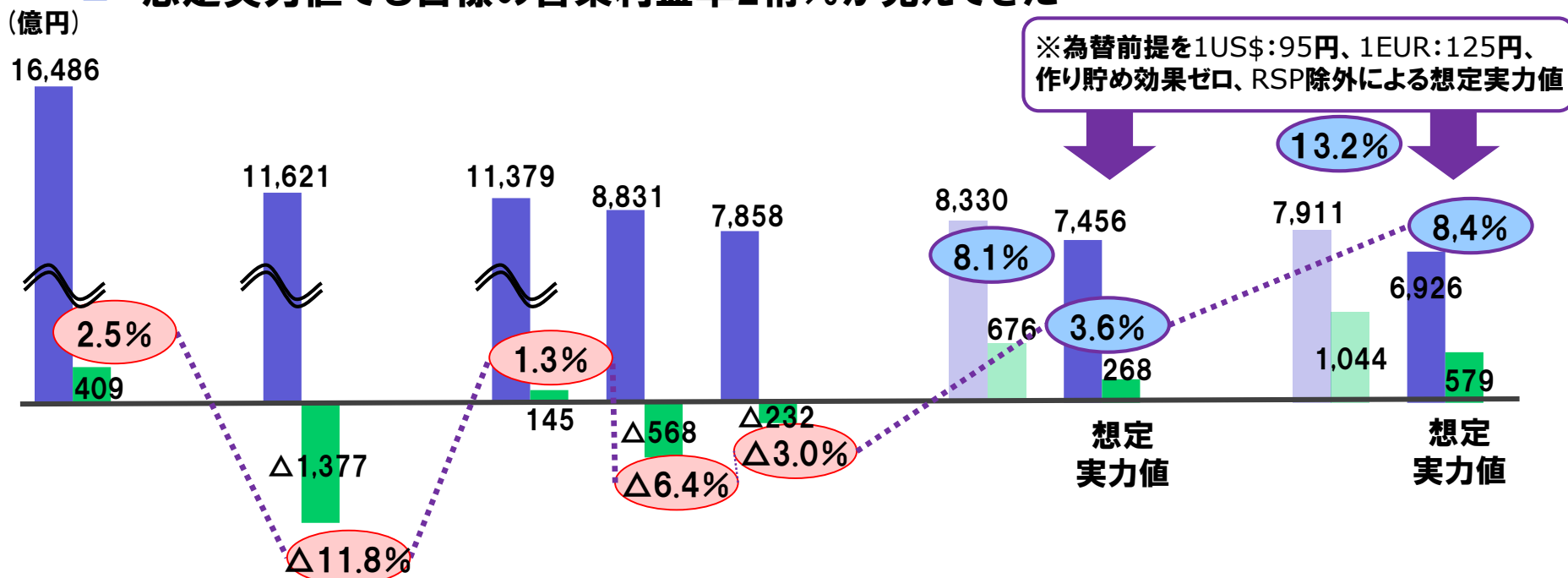
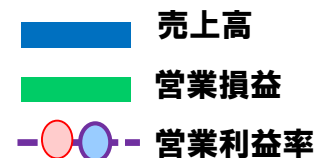
III. 成長へのギアチェンジに向けて

1 変革プランの推進



2 業績推移

- 事業ポートフォリオ再編による減収があるものの
変革プランを遂行し、収益基盤を改善
- 想定実力値でも目標の営業利益率2桁%が見えてきた



売上依存、
固定費水準高
→低営業利益

リーマンショック
→大幅な減収、
営業赤字

売上依存、固定費水準高
→統合後も依然として
変わらず

変革プラン遂行
→収益基盤を改善
→想定実力値でも目標値達成へ

FY03-FY07
平均

FY08-FY09
平均

FY10

FY11

FY12

FY13

FY14

※FY03-FY07/FY08-FY09:NECエレクトロニクスおよびルネサス テクノロジーの決算数値の単純合算の平均

③ 成長へのギアチェンジに向けて

製品の選択と集中

- 低利益率製品からの脱却

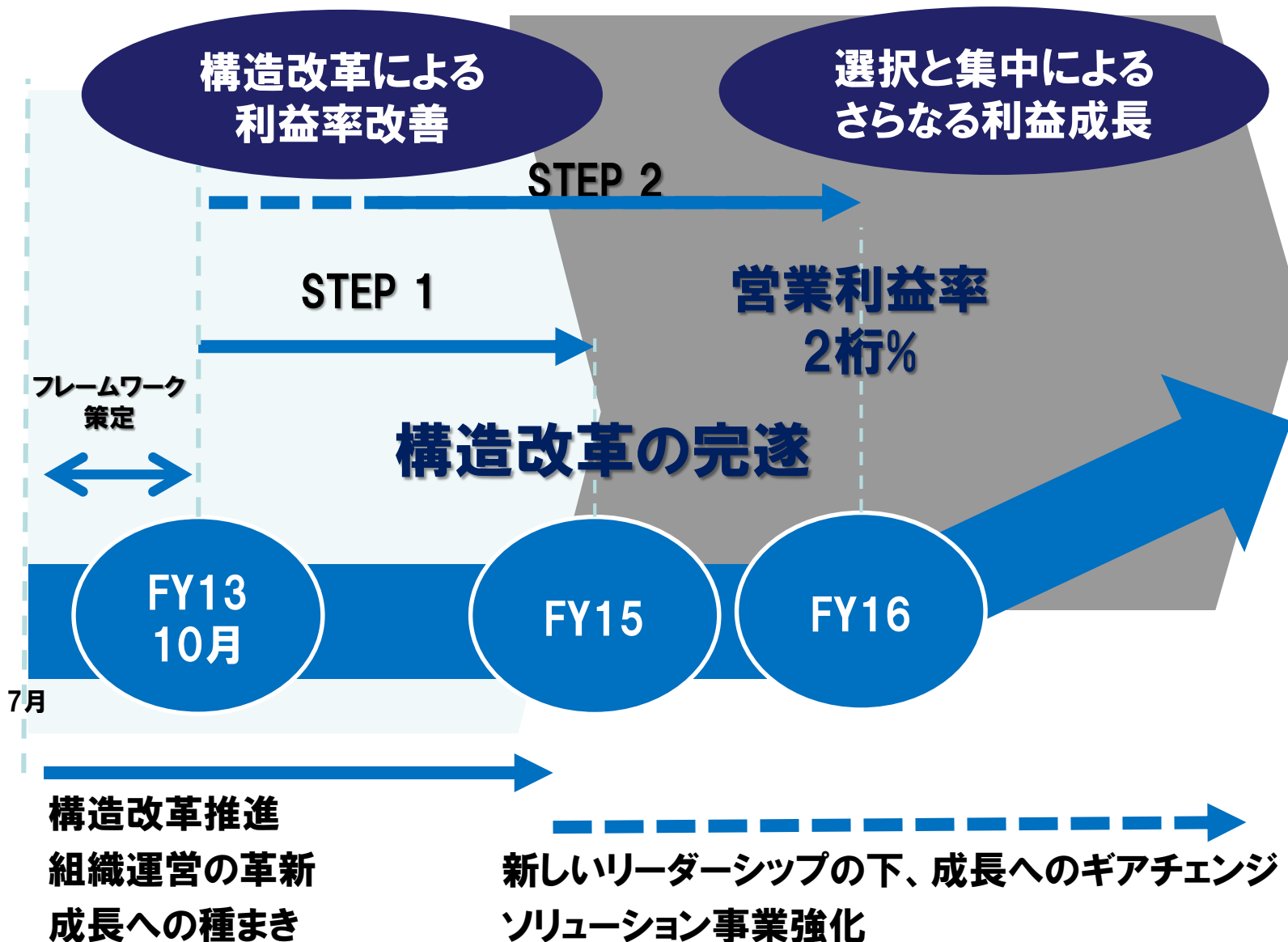


事業の選択と集中

- 成長領域・高利益率領域への資源シフト加速



4 変革プラン



(将来予測に関する注意)

本資料に記載されているルネサス エレクトロニクスグループの計画、戦略及び業績見通しは、現時点で入手可能な情報に基づきルネサス エレクトロニクスグループが判断しており、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、実際の業績等は、様々な要因により、これら見通し等とは大きく異なる結果となりうることをあらかじめご承知願います。実際の業績等に影響を与えうる重要な要因としては、(1)ルネサス エレクトロニクスグループの事業領域を取り巻く日本、北米、アジア、欧州等の経済情勢、(2)市場におけるルネサス エレクトロニクスのグループ製品、サービスに対する需要動向や競争激化による価格下落圧力、(3)激しい競争にさらされた市場においてルネサス エレクトロニクスグループが引き続き顧客に受け入れられる製品、サービスを供給し続けていくことができる能力、(4)為替レート(特に米ドルと円との為替レート)の変動等がありますが、これら以外にも様々な要因がありえます。また、世界経済の悪化、世界の金融情勢の悪化、国内外の株式市場の低迷等により、実際の業績等が当初の見通しと異なる結果となる可能性もあります。



ルネサス エレクトロニクス株式会社